

今年度事業名	ライブラリーカフェ	事業コード 482
来年度事業名	ライブラリーカフェ	

総合戦略体系	244	若者が住みたいなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	市民との協働事業の推進
--------	-----	----------------	-------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	文化の館	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	新たな学びへの扉を開くことを通じて、市民の教養が高まることに資する。				
	概要	文化の館喫茶室という気軽な雰囲気の中で、様々な分野で活動している人の話を聞き、参加者も含めた語らいの場を提供する。				
	コロナ対応の取組	(来年度) 行事開催にあたり、新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場の変更や、行事参加者人数を絞る。				
	法令根拠		実施形態	現在	市直営	
			内容			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
開催回数(ライブラリーカフェコンサート含む)		回	目標値				6	14
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
年間参加人数(ライブラリーカフェコンサート含む)		人	目標値				220	500
			実績値					
計算根拠	年間参加人数		達成率					
			実数値					

■ 通常期の指標

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
開催回数(ライブラリーカフェコンサート含む)		回	目標値	12	12	12		
			実績値	13	13	12		
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
年間参加人数(ライブラリーカフェコンサート含む)		人	目標値	600	600	700		
			実績値	890	698	673		
計算根拠	年間参加人数		達成率	148.3	116.3	96.1		
			実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.05
	臨時・嘱託	0.2
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由	
---------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	100	104	114	112
決算額	98	92	71	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	10	201	図書館管理運営費	83,560	112	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	112

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 13 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 有効性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 13 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	毎回、40人以上の参加者があり、市民から知的好奇心を得る場として好評を得ているので、鯖江図書館友の会と協働で、昨年度同様の形態で実施する。
前年度の実績	4月から2月までのカフェは11回 538名、コンサート1回135人の参加があった。新型コロナのための行事自粛がなければ、目標達成可能であったとみられる。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 新型コロナ対策のためR2年度初めから行事中止となり、R2年度8月末までにカフェを1回開催したのみ。空調等の工事による9月14日~11月26日の全面休館中も行事開催はできない。また、今後も感染拡大防止のため、多目的ホールでのコンサート開催についても中止もしくは参加者数を絞っての開催を考えなくてはならない。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 行事開催にあたり、新型コロナ感染拡大防止のため会場の変更や、行事参加者人数を絞るなどの対策を行いながら実施していく。
	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):
来年度 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):

今年度 事業名	映像シアター開催事業	事業コード 612
来年度 事業名	映像シアター開催事業	

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	文化の館	開始年度	1995	終了年度	9999
	目的	映像芸術、視聴覚教材に親しんでもらうことを通じて、市民へ娯楽を提供するとともに、文化的教養の向上に資する。				
	概要	毎月1回、名画等の鑑賞会を開催するとともに、子ども向け「こどもシアター」を夏休み・春休み期間などに年2・3回開催する。また、映像制作活動を行っている市民グループの作品を合わせて上映する。				
	コロナ対応 の取組	(来年度)新型コロナ感染拡大防止のため、ホールの定員1/2以下とし、参加者に上限を設け実施する。その中、鑑賞者のニーズを把握して満足度を高めるとともに、この事業は広報、ホームページ、館内ポスターにて周知しているが、更に他の施設にポスターを張りPRし参加者の拡大に努める。				
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営		
			内容			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
上映回数	回	目標値				7	14
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
年間入場者数	人	目標値				340	780
		実績値					
計算 根拠	年間入場者数	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
上映回数	回	目標値	14	14	14		
		実績値	15	13	13		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
年間入場者数	人	目標値	1,100	1,100	1,100		
		実績値	1,059	1,212	1,130		
計算 根拠	年間入場者数	達成率	96.3	110.2	102.7		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.05
	臨時・嘱託	0.18
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	65	65	65	66
決算額	65	65	65	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	12	202	視聴覚教材充実費	239	66	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	66

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 12 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 効率性 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを 確保する余地はないか。 有効性 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 有効性 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 13 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	改修工事を終了した多目的ホールを利用して、子どもから高齢者までが、映像を楽しみ親しむことができる場を提供する。 また、映像制作活動を行っている、市民グループの作品を最初に上映することで、郷土の行事等を映像で残す活動を支援する。
来年度へ向けて	前年度の実績 3月は中止せざるを得なかったが、参加者が多い回もあり、年間入場者数は成果指標を達成することができた。
前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題	新型コロナ感染拡大により4月から休館・行事中止となり8月末まで事業実施ができなかった。解除後も感染拡大防止のため、多目的ホールの定員の1/2をまでを参加者の上限とし開催する。また、空調等の工事による9月14日~11月26日の全面休館中も行事開催はできない。
実績と課題を踏まえた来年度の変更点	新型コロナ感染拡大防止のため、ホールの定員1/2以下とし、参加者に上限を設け実施する。その中、鑑賞者のニーズを把握して満足度を高めるとともに、この事業は広報、ホームページ、館内チラシにて周知をしているが、更に他の施設にポスターを張りPRし参加者の拡大に努める。また、平日にコミバスの運行時間に合わせた上映会を企画し利用者増を図る。
方向性⇒	<input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>
来年度 事業名	<input type="text" value="市民役事業にかかる額(単位千円):"/>

今年度 事業名	図書充実事業	事業コード 2077
来年度 事業名	図書充実事業	

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	文化の館	開始年度	0	終了年度	9999
	目的	蔵書を充実することにより、図書館サービスの向上を図る。				
	概要	市民のニーズに沿った質の高い蔵書をめざして、図書資料等の選書、収集、整理、保存を行う。				
	コロナ対応 の取組	特になし				
	法令 根拠		実施 形態	現在	市直営	
			内容			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
蔵書数	冊	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
インターネット予約数	件	目標値					
		実績値					
計算 根拠	予約件数:市民の求める資料をそろえる。	達成率					
		実数値					
レファレンス数	件	目標値					
		実績値					
計算 根拠	レファレンス数:市民の求める資料・情報に応える件数	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
蔵書数	冊	目標値	348,000	349,000	363,000	365,000	380,000
		実績値	361,812	365,965	373,139		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
レファレンス数	件	目標値	5,500				
		実績値	4,443				
計算 根拠	レファレンス数:市民の求める資料・情報に応える件数	達成率	80.8				
		実数値					
インターネット予約数	件	目標値		8,200	8,300	8,300	10,000
		実績値		9,538	10,058		
計算 根拠	予約件数:市民の求める資料をそろえる。	達成率		116.3	121.2		
		実数値					

ランク	B	A	A
-----	---	---	---

事業 要員	正規職員	0.3
	臨時・嘱託	4
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
事業費 予算額	14,890	14,445	14,545	14,545
決算額	14,890	14,430	14,545	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)
1	10	5	10	202	図書購入費	17,137	14,545
2							
3							
4							
5以降							
						合計	14,545

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
合計		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 14 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 有効性	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	市民が求める資料、情報に正確かつ迅速に応えるため、図書および資料等の選書の質を高め、蔵書の充実を図りながら、昨年度同様の形態で実施する。
来年度へ向けて	<p>前年度の実績 蔵書の充実を図りつつ、R1.12の図書館アプリ「館図バス」運用開始に合わせてネット予約についての広報を行ったことにより、ネット予約の利用者が増加した。</p> <p>前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 R2年度は新型コロナの影響で図書館休館期間があり、利用が減少している。</p> <p>実績と課題を踏まえた来年度の変更点 図書資料の予約制度の広報、および資料提供の円滑化を図り、住民ニーズを意識した図書を揃えていくことで、予約数の増加を見込む。</p>
	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>

【提案型市民主役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円):
来年度 事業名	
	市民主役事業にかかる額(単位千円):

今年度事業名	子どもの読書活動支援(学校図書館支援センター)事業	事業コード	2212
来年度事業名	子どもの読書活動支援(学校図書館支援センター)事業		

総合戦略体系	323	若くて元気のまちの創造	子どもがいまいきと過ごすまち	学校図書館の充実
--------	-----	-------------	----------------	----------

PLAN(計画)	部署名	文化の館	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	未来を担う子どもたちの心を培うため、乳幼児から児童生徒までの読書活動を支援し、情操を豊かにするとともに考える力の向上に寄与する。				
	概要	0歳児から対象年齢別に子どもの読書支援イベントを実施し、本に親しむ環境づくりを図る。「学校図書館支援センター」を核として、学校、家庭、地域と連携協働を進め、ボランティアの育成に努める。				
	コロナ対応の取組	(来年度)新型コロナ感染症拡大防止のため、多目的ホールの定員を1/2としているので、こどものつどいスペシャルをホール会場にする場合は参加者に上限を設けて開催する。				
法令根拠		実施形態	現在	市直営		
			内容			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
子どもの読書支援イベント年間開催回数(館内イベントのみ対象)	回	目標値				50	100
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
子どもの読書支援イベント年間参加者数(館内イベントのみ対象)	人	目標値				780	1,420
		実績値					
計算根拠	事業への参加者累計	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
子どもの読書支援イベント年間開催回数(館内イベントのみ対象)	回	目標値	100	100	100		
		実績値	101	97	91		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
子どもの読書支援イベント年間参加者数(館内イベントのみ対象)	人	目標値	1,700	1,700	1,700		
		実績値	1,741	1,733	1,785		
計算根拠	事業への参加者累計	達成率	102.4	101.9	105.0		
		実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.5
	臨時・嘱託	3.5
	※所要時間	0

ランクB、Cの理由	
-----------	--

DO(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	2,259	2,238	2,238	2,246
決算額	2,154	2,168	2,170	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	10	203	こどもの読書支援事業費	2,246	2,246	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	2,246

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 14 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを 確保する余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>
取組内容	こどもの読書支援事業は、市民への公的サービスであり、豊かな子どもの心を培うものとして重要な事業であるため、昨年度同様の形態で実施する。 R1年度まで生涯学習・スポーツ課所管であった子ども読書活動推進会議事務を移管し実施する。
前年度の実績	新型コロナの影響で、2月末から行事中止のため、実施回数が減少した。
来年度へ向けて	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 R2年3月以降7月まで行事中止のため、実施回数・参加者数が減少している。また、R2年9月14日から12月初めまで児童閲覧室使用できないため、行事实施できない。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 新型コロナ対感染拡大防止のため、多目的ホールの定員を1/2としているので、こどものつどいスペシャルをホールで実施する場合は参加者に上限を設けて開催する。本との素敵な出会い事業についてはふるさと納税等による自主財源確保に取り組む。
	方向性⇒ <input type="text" value="維持"/>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	<input type="text" value="市民主役事業にかかる額(単位千円):"/>
来年度 事業名	<input type="text" value="市民主役事業にかかる額(単位千円):"/>

今年度 事業名	読書手帳普及事業	事業コード	3233
来年度 事業名	読書手帳普及事業		

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	文化の館	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	読書手帳の発行・普及により、図書館から借りた本の履歴(読書歴)の管理を利用者自らが行うことが可能となり、「一度読んだ本を再度借りてしまうことが避けられる」「以前読んだ本を再度借りたいときなどにスムーズに手続きできる」など利用者の利便性が向上する。また、読んだ本の履歴が目に見えて増えていくことや、読んだ本の簡単な感想を書き込むことなどで、読書の楽しみが増し、読書活動推進へとつながることができる。				
	概要	文化の館において、読書手帳を発行し、図書館利用者が読書履歴を自分で管理することが可能にする。記念手帳に、シールラベルを貼る形式にする。 H26.10.27～発行開始				
	コロナ対応 の取組	(今年度)R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館(入館不可)により、シール印刷機を利用できない期間があった。また、9月から工事による休館も控えており、シール印刷機を利用できない期間があるため、利用減は避けられない。(来年度)広報さばえ、ホームページ等でさらなるPRを行う。また、読書週間に合わせ再度キャンペーンを実施し、利用者の拡大を図る。				
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営		
			内容			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
読書手帳の配布冊数(累計)	冊	目標値				3,200	3,500
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
シールタイプロール紙の使用量	巻	目標値				13	20
		実績値					
計算 根拠	ロール紙の使用量で、貸出履歴の出力冊数の把握ができる。(ロール紙は1巻につき2300冊分の貸出履歴が印字可能。)	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
読書手帳の配布冊数(累計)	冊	目標値	1,900	2,500	2,800		
		実績値	2,307	2,609	3,062		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
シールタイプロール紙の使用量	巻	目標値	20	20	20		
		実績値	16	16	16		
計算 根拠	ロール紙の使用量で、貸出履歴の出力冊数の把握ができる。(ロール紙は1巻につき2300冊分の貸出履歴が印字可能。)	達成率	80	80	80		
		実数値					

ランク B B B

事業 要員	正規職員	0.17	ランク B、Cの 理由	新型コロナウイルス感染拡大により3/2から小中高が臨時休校になったのに合わせ、小中高校生の館内の長時間滞在(読書、勉強、休憩など)の制限をしており、小中高校生の利用が減少したため
	臨時・嘱託	0.17		
	※所要時間	0		

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	59	59	59	29
決算額	59	59	55	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	10	201	図書館管理運営費	83,560	29	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	29

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計
		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。
(評価1いいえ・2はい) いいえ はい

行政が実施すべき事業か。
(評価1必要なし~5必ず実施すべき) 1 2 3 4 5

住民等のニーズはあるか。
(評価1ニーズなし~5十分にニーズあり) 1 2 3 4 5

国・県または民間のサービスと競合している事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。
(評価1はい・2いいえ) はい いいえ

①必要性 評価点数の合計 13 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。
効率性 ある ない

今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う
人員削減させる余地はないか。
 ある ない

今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを
確保する余地はないか。
有効性 ある ない

今以上に、成果を向上させる余地はないか。
 ある ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒

取組内容
利用者が自らが読書履歴を楽しみながら管理できるため、読書活動推進のひとつとして、昨年度同様の形態で実施するとともに、使い方を具体的に示しPRを行う。

前年度の実績
読書手帳5周年キャンペーンを実施し、手帳利用者の利用促進と、未利用者へのPRを図り、利用者増が見られた。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館(入館不可)により、シール印刷機を利用ができない期間があった。また、9月から工事による休館も控えており、シール印刷機を利用できない期間があるため、利用減は避けられない。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
広報さばえ、ホームページ等でさらなるPRを行う。また、読書週間に合わせ再度キャンペーンを実施し、利用者の拡大を図る。また、現在は中学生以下は無料だが、中学生は2冊目以降50円いただく。

方向性⇒

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	可能	可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

来年度 事業名

市民主役事業にかかる額(単位千円):

今年度 事業名	「えきライブラリー」運営事業	事業コード 3234
来年度 事業名	「えきライブラリー」運営事業	

総合戦略 体系	244	若者が住みたくなるまちの創造	ものづくり教育とふるさと学習の推進	市民との協働事業の推進
------------	-----	----------------	-------------------	-------------

PLAN (計画)	部署名	文化の館	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	JR鯖江駅利用者の利便性向上による乗降客の増加策および駅前活性化施策の一環として、鯖江市が長期間空きスペースとなっていたJR鯖江駅2階を整備・貸出し、このスペースを活用した市民協働による事業を展開する。				
	概要	鯖江市がJR鯖江駅2階スペースを整備活用する市民協働による事業において、図書の貸出を行うための図書購入や情報検索・発信のためパソコンを配置する。				
	コロナ対応 の取組	(来年度) えきライブラリーへの配本内容を見直し、えきライブラリーに特化した蔵書構成とするなど、短くなった利用時間でも来訪できる人へのアプローチをする。4月より定休日が週2日になるとの連絡あり。				
法令 根拠		実施 形態	現在	その他		
			内容	図書の選書・団体貸出:市直営 運営:民間委託等		

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
「えきライブラリー」への配本冊数	冊	目標値				920	1,200
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
返却冊数	冊	目標値				500	700
		実績値					
計算 根拠	「えきライブラリー」への本の返却冊数	達成率					
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
「えきライブラリー」への配本冊数	冊	目標値	1,200	1,200	1,200		
		実績値	1,307	1,329	1,160		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
返却冊数	冊	目標値	1,200	1,300	1,000		
		実績値	1,492	1,071	973		
計算 根拠	「えきライブラリー」への本の返却冊数	達成率	124.3	82.4	97.3		
		実数値					

ランク	A	B	A
-----	---	---	---

事業要員	正規職員	0.13
	臨時・嘱託	0.26
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

DO
(実施)

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	127	55	55	55
決算額	15	49	55	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	10	202	図書購入費	17,137	55	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	55

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 12 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 ○ ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 10 / 20

ACTION

今年度 方向性⇒ 維持

取組内容
運営事業者の都合により返却ポストの利用可能時間は、通勤通学時間帯とは重ならないため利用しにくい面もあるが、JR鯖江駅前のにぎわい創出と、JR利用者や周辺住民の利便性を図るため、昨年度同様の形態で実施する。

来年度へ向けて 前年度の実績
利用可能時間の減少の影響もあったからか、返却冊数は減少した。

前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題
図書館休館により貸出冊数が大幅に減少したため、返却対象の本も減少した。福井県の非常事態宣言を受けて、えきライブラリーtetoteも約2か月間(4/8~6/14)休業しており、再開後も以前よりさらに1時間程営業時間を短縮している。図書館側の都合で運営時間を延ばすことは困難である。休業空けは新型コロナ対策として、入替冊数を減らし、そのことにより担当職員の店内滞在時間を短縮した。

実績と課題を踏まえた来年度の変更点
えきライブラリーへの配本内容を見直し、えきライブラリーに特化した蔵書構成とするなど、短くなった利用時間でも来訪できる人へのアプローチをする。

方向性⇒ 維持

【提案型市民役事業実施】					
年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	<input type="text" value=""/>
市民役事業にかかる額(単位千円):	<input type="text" value=""/>
来年度 事業名	<input type="text" value=""/>
市民役事業にかかる額(単位千円):	<input type="text" value=""/>

今年度 事業名	図書館情報オープンデータ化事業	事業コード 3308
来年度 事業名	図書館情報オープンデータ化事業	

総合戦略 体系	452	安心して快適に暮らせるまちの創 造	デジタルファーストの推進	データの利活用
------------	-----	----------------------	--------------	---------

PLAN (計画)	部署名	文化の館	開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	図書館マップ「配架図」をオープンデータ化することにより、図書館内外から自分の探している本がどの書棚にあるかを知ることができる。iphoneの位置情報とあわせることで本探しが容易になるなど利用者の利便性が向上させる。平成28年1月～さばとマップ稼働。				
	概要	図書館書架にiBeaconを設置し、書架の位置情報を取得する。書架に並んだ本の分類番号と結びつけたデータを作成・公開する。				
	コロナ対応 の取組	(来年度)来館しての打合せが無理な場合、メールやり取りだけで連絡をしていたが、zoom接続のテレビ会議等での打合せを設定する。そ の中で、改善箇所を依頼し利便性を高める。				
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営		
			内容			

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
アプリ納入業者「株カール」との打合せ		回	目標値				0	1
			実績値					
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
アプリ「さばとマップ」の登録者数(新規)		人	目標値				60	100
			実績値					
計算 根拠			達成率					
			実数値					

■ 通常期の指標

活動指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
アプリ納入業者「株カール」との打合せ		回	目標値	2	2	2		
			実績値	2	2	1		
成果指標								
指標名		単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
アプリ「さばとマップ」の登録者数(新規)		人	目標値		100	100		
			実績値		149	179		
計算 根拠			達成率		149	179		
			実数値					
アプリ「さばとマップ」の登録者数(累計)		人	目標値	700				
			実績値	744				
計算 根拠	H28年度末登録者数569人+平成29年度登録者数 10人×12月=700人		達成率	106.3				
			実数値					

ランク	A	A	A
-----	---	---	---

事業 要員	正規職員	0.09
	臨時・嘱託	0
	※所要時間	0

ランク B、Cの 理由	
-------------------	--

【単位:千円】

区分	2017	2018	2019	2020
予算額	65	65	65	66
決算額	65	65	65	

会計	一般会計
事業タイプ	単独事業
経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名	予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	10	201	図書館管理運営費	83,560	66	
2								
3								
4								
5以降								
							合計	66

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計 0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 13 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。 効率性 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担など)を 確保する余地はないか。 有効性 <input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 有効性 <input checked="" type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 13 / 20

ACTION

今年度	方向性⇒ 維持	取組内容 引き続き、図書館の利便性向上を図るため、「さばとマップ」の利用促進を行い、昨年度同様の形態で実施する。
来年度へ向けて	前年度の実績 他の図書館アプリの運用開始に合わせた広報の中で、「さばとマップ」の広報を同時に行ったこともあり、利用者が増えた。	前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 R2年度は新型コロナの影響で、事業者が来館しての打合せができない。しかし、「さばサーチ」において書影がみれるように改善がなされ利便性が向上した。
	実績と課題を踏まえた来年度の変更点 来館しての打合せが無理な場合、メールやり取りだけで連絡をしていたが、zoom接続のテレビ会議等での打合せを設定する。その中で、改善箇所を依頼し利便性を高める。また、親子連れにアプリのダウンロードを勧めるなど利用者増につなげる。	
	方向性⇒ 維持	

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):
来年度 事業名	市民主役事業にかかる額(単位千円):

今年度 事業名	読書困難者支援事業	事業コード 3309
来年度 事業名	読書困難者支援事業	

総合戦略 体系	335	若くて元気のまちの創造	生涯現役で生涯青春のまち	生涯学習体制の充実
------------	-----	-------------	--------------	-----------

PLAN (計画)	部署名	文化の館		開始年度	2015	終了年度	9999
	目的	これまでの障害者サービスで提供してきた資料は「点字(訳)図書」「録音(テープ・CD)図書」「大活字本」などであるが、障害特性に合わせた資料やサービス方法の開拓・活用が求められている。2016年4月から「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(通称:障害者差別解消法)」が施行し、図書館としても拡大読書器などを整備することで、視覚障害者などの読書困難者にもバリアなく読書を楽しんでもらうことを目指す。					
	概要	拡大文字・白黒反転などに対応した拡大読書器を設置。また「サビエ(視覚障害者総合情報ネットワークシステムの略称)」を利用することで点字・読み上げ図書データの提供を行っていく。					
	コロナ対応 の取組	特になし					
法令 根拠		実施 形態	現在	市直営			
			内容				

■ 新型コロナウイルス感染症に対応した指標

コロナの影響により指標や目標値等が通常期と違う場合はチェック→

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
啓発チラシ配布(視覚障害者)	枚	目標値					
		実績値					
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
視覚障害者への視聴覚資料郵送回数	回	目標値					
		実績値					
計算 根拠	1月あたり1.5回×12月		達成率				
		実数値					

■ 通常期の指標

活動指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
啓発チラシ配布(視覚障害者)	枚	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	100	100	100		
成果指標							
指標名	単位	年度	2017	2018	2019	2020	2021
視覚障害者への視聴覚資料郵送回数	回	目標値	30	30	30	15	15
		実績値	27	24	13		
計算 根拠	1月あたり1.5回×12月		達成率	90	80	43	
		実数値					

ランク B B C

事業要員	正規職員	0.01
	臨時・嘱託	0.05
	※所要時間	0

ランク B、Cの理由
視聴覚資料郵送は、利用者の依頼を受けて実施するものであり、1名は他機関(県視覚障害者福祉協会)から入手するようになったため回数減となった。

DO
(実施)

【単位:千円】

事業費	区分	2017	2018	2019	2020
	予算額	40	40	40	40
	決算額	40	40	40	

タイプ	会計	一般会計
	事業タイプ	単独事業
	経費区分	物件費

DO(実施)

No	款	項	目	事業	R2年度事業名		
					予算書額	うち事業額(千円)	
1	10	5	10	201 図書館管理運営費	83,560	40	
2							
3							
4							
5以降							
						合計	40

No	R2年度補助金等名称	金額(千円)
1		
2		
3		
4		
5以降		
		合計
		0

CHECK(評価)

①必要性 評価項目

法令により実施することが義務づけられているか。 (評価1いいえ・2はい)	<input checked="" type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい
行政が実施すべき事業か。 (評価1必要なし~5必ず実施すべき)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
住民等のニーズはあるか。 (評価1ニーズなし~5十分にニーズあり)	<input type="radio"/> 1	<input type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 5
国・県または民間のサービスと競合している事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ
事務事業の中で、目的や概要が類似する事務事業がある。 (評価1はい・2いいえ)	<input type="radio"/> はい	<input checked="" type="radio"/> いいえ

①必要性 評価点数の合計 11 / 16

②事務改善 評価項目

今以上に、コスト削減させる余地はないか。 効率性	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、ITを活用した業務の効率化などに伴う 人員削減させる余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、財源(補助金等、受益者負担などを 確保する余地はないか。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
今以上に、成果を向上させる余地はないか。 有効性	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない

②事務改善 評価点数の合計 13 / 20

ACTION

<p>今年度 方向性⇒ 維持</p> <p>取組内容 従来から提供している点字図書、録音図書、大活字本に加え、拡大読書器利用やサビエ(視覚障害者情報総合ネットワーク)を通じての図書利用サービスを昨年度同様の形態で実施し、読書困難者の読書支援を行っていく。</p>
<p>前年度の実績 点字図書、録音図書、大活字本の充実に努めた。視覚資料郵送は、利用者の依頼を受けて実施するものであり、1名は自宅の機器が故障している間依頼をしてこなかったため、回数減となった。</p> <p>前年度実績と今年度の経過を踏まえた課題 点字図書、録音図書、大活字本の充実に努めている。視覚資料郵送の利用者1名は故障していた機器を更新し、貸出依頼が再開した。拡大読書器の利用はある。当館を経由してのサビエ利用はなかった。</p> <p>実績と課題を踏まえた来年度の変更点 点字図書、録音図書、大活字本の充実に努める。利用者の申し込みそうな資料の充実に努め、依頼に対応できるようにする。また、サビエ図書館の個人利用を推進するなど視覚障がい者のニーズに合わせたサービスを提供する。</p> <p>方向性⇒ 維持</p>

【提案型市民役事業実施】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

取組可能な事業の詳細⇒

今年 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):
来年度 事業名	
度	市民役事業にかかる額(単位千円):